

令和3年度豊かな森を育てる府民税 事業成果及び評価結果

令和4年10月
京都府農林水産部森の保全推進課

目次

1. 令和3年度豊かな森を育てる府民税評価結果	2
2. 京都府豊かな森を育てる府民税事業実績	6
I 森林の整備及び保全	6
1 森林防災機能強化事業費	6
(1) 地域とつくる安心・安全な森整備事業	6
(2) 流木等流出防止対策事業	6
(3) 山地災害防止対策事業	6
(4) 森林管理アクセス整備事業	6
2 豊かな森づくり総合対策事業費	8
(1) 次世代につなぐ森づくり事業	8
(2) ふるさとの里山林保全活動推進事業	8
(3) 京の森林文化を守り育てる支援事業	8
(4) 豊かな森の恵み創造事業	8
II 森林資源の循環利用	10
1 ひろがる京の木整備事業	10
2 建築物木造木質化促進事業	12
III 森林の重要性の啓発	13
1 豊かな森林継承事業	13
IV 地域振興計画推進事業費	14
V 豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業	17

令和3年度豊かな森を育てる府民税評価結果

京都府農林水産部森の保全推進課

京都府では、災害防止など森林の持つ多面的機能を維持するため、平成28年度から「京都府豊かな森を育てる府民税」（以下、府民税）を導入しており、第2期となる令和3年度からは、毎年度、事業の進捗や効果を評価・検証することとしました。

この度、令和3年度の府民税事業についての評価にあたり、有識者会議を開催し、「府の事業評価の妥当性、改善点や要望、今後の展開」などについて意見をいただきました。

1 有識者会議の評価結果について

(1) 総括的な評価

- 事業毎の到達目標に対する達成度に基づいた定量的な評価や地域住民や実施主体の意見等を踏まえた定性的な評価がされており、府の事業評価は妥当
- 健全な森林づくりには、森林資源の循環利用を促すことが必要であり、森林整備と木材利用を両輪で進めなければならない
- 府民税と森林環境譲与税を棲み分けながら、府民税を有効かつ適切に活用し、事業を実施することが重要

(2) 府による事業評価と分野別の主な意見

I 森林の整備及び保全

分野	事業名等	実績額（千円）
I 森林の整備及び保全	1 森林防災機能強化事業費	309,323
	(1) 地域とつくる安心・安全な森林整備事業	21,152
	(2) 流木等流出防止対策事業	112,500
	(3) 山地災害防止対策事業	145,044
	(4) 森林管理アクセス整備事業	30,627
	2 豊かな森づくり総合対策事業費	92,612
	(1) 次世代につなぐ森づくり事業	23,783
	(2) ふるさとの里山林保全活動推進事業	26,669
	(3) 京の森林文化を守り育てる支援事業	40,157
	(4) 豊かな森の恵み創造事業	2,004
計		401,935

事業評価	有識者会議の主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ○ 府民税事業の6割を防災・減災対策に活用し、流木等の原因となる危険木を集中的に撤去することにより、災害の未然防止を図ることができた ○ 地域からの提案により、人家近くの危険木の調査や撤去を実行・支援したことから、完了後の評価は好評であり、地元要望に応える事業を実施できた ○ 主伐後の植栽や花粉症対策苗木の生産準備等、次世代の森づくりへの支援を実施したことにより、再造林が促進できた ○ 地域住民による森林保全活動等への支援を実施することにより、里山林整備が進んだ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共事業では対応できない、<u>きめ細やかな対策</u>ができています ○ <u>再造林への支援は、資源循環のため必要な取組</u>である ○ <u>木材生産林や環境保全林など、森林のゾーニングを考慮した上で、森林計画との整合や樹種の選定など再造林のあり方を考えることが必要</u> ○ <u>健全な森林づくりには、森林資源の循環利用を促すことが必要であり、森林整備と木材利用を両輪で進めなければならない</u>

II 森林資源の循環利用

分野	事業名等	実績額（千円）
II 森林資源の循環利用	1 ひろがる京の木整備事業	54,910
	2 建築物木造木質化促進事業	946
計		55,856

事業評価	有識者会議の主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共・民間施設等の木造・木質化や木製品の導入・開発の支援を実施したことにより、府内産木材の需要が拡大し、府民の関心に繋げることができた ○ 事業を実施した施設の利用者からは、「木を身近に感じられる環境が整った」等の声が聞かれ、府民のニーズに応える事業を実施できた 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広く府民が税の効果を楽しめ、<u>木材利用を進めるためのふさわしい事業</u>である ○ <u>木造建築物を増加させるために必要な木造・木質化を担う設計者の育成に取り組まれている</u> ○ <u>住宅等への木材利用の支援について、一定期間が経過しているため、新たなニーズを取り入れた支援も必要</u>

III 森林の重要性の啓発

分野	事業名等	実績額（千円）
III 森林の重要性の啓発	豊かな森林継承事業	8,811

事業評価	有識者会議の主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナ感染拡大の影響を受け、対面での府民参加活動が制限されたが、Webを活用した森林散策動画の発信などで啓発し、府民の理解が深まった ○ 各種イベントの参加者からは、「森林の大切さや木材への親しみを深めることができた」等の声が聞かれ、森林の多様な機能についての府民の理解が深まった ○ 里山学習活動への支援を実施することにより、森林の大切さへの理解が深まった 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍において、<u>森林と触れ合える場を提供</u>できている ○ WITHコロナにおいて、<u>小規模でも魅力度の高いイベントや木を使う魅力の発信を推進することが必要</u>

IV 広域振興局枠

分野	事業名等	実績額（千円）
IV 広域振興局枠	地域振興計画推進事業費	8,590
事業評価		有識者会議の主な意見
○ 広域振興局が地域の特色や地域住民のニーズに応じ、森林保全や木材利用等の啓発を行い、京のブランド産品（丹波くり）の人材を育成できた	○ 各広域振興局において、 <u>地域課題の対応、地域密着型の事業展開ができています</u> ○ <u>地域の取組の発展や地域課題の掘り起こしも、今後の事業展開のひとつである</u>	

V 市町村交付金

分野	事業名等	実績額（千円）
V 市町村交付金	豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業	199,985
事業評価		有識者会議の主な意見
○ 防災・減災対策や里山及び放置竹林における森林整備に活用し、地域の要望に対応できた ○ 木質化・木育・森林環境学習による普及啓発等、市町村独自の地域課題に応じた取組を進めることができた	○ <u>専門職員のない市町村への森林整備等の助言・指導が必要</u> ○ <u>市町村交付金の用途や森林環境譲与税との棲み分けなど、市町村への積極的なサポートが必要</u>	

(3) 指標と目標達成率

用途分野	指標	R3年度	R3年度	R3年度までの実績値 /5年間の目標値
		実績値/目標値	達成率	
Ⅰ 森林の整備及び保全	①山地災害危険地区の整備	38箇所/20箇所	190%	38箇所/100箇所
	②溪流における災害の未然防止	41箇所/20箇所	205%	41箇所/100箇所 ※内、山地災害危険地区(37箇所)
	③災害防止のための森林整備	182ha/200ha	91%	182ha/1000ha ※効果が発揮される流域面積
	④再造林への補助	62ha/61ha	102%	62ha/445ha ※内、府民税実績(27ha)
	⑤花粉症対策苗木の生産	—	—	—/30万本 ※R4年度から苗木生産を開始
	⑥里山林の整備	60箇所/60箇所	100%	60箇所/300箇所
	⑦里山学習の実施	6箇所/6箇所	100%	6箇所/30箇所
	⑧地域文化と関わる社寺の森等の整備	47箇所/30箇所	157%	47箇所/150箇所
Ⅱ 森林資源の循環利用	①府民が京都の木を身近に感じる環境づくり	○建物型：住宅タイプ 102件(1,383㎡)、非住宅タイプ 6件(134㎡) 優良事列表彰、パンフレット・HP作成など ○木製品型：導入支援タイプ 21件、府民利用タイプ 10件、開発支援タイプ 7件		
	②府内産木材を利用した木造・木質化を促進するための技術者の育成等	○「中大規模大造建築物 構造見学会」の開催 参加人数 21名 ○「府内産木材需要拡大協議会」の開催 参加人数 14名11団体		
Ⅲ 森林の重要性の啓発	①森林の多様な機能についての府民理解の促進(イベント参加者)	440人/600人	73%	440人/3000人

【参考 有識者会議について】

(1) 有識者会議の開催

- ・第1回会議 令和4年7月 6日(実績と事業評価方法の確認)
- ・第2回会議 令和4年8月22日(取りまとめ)

(2) 有識者会議メンバー

氏名	分野	役職等
あいこう まさとし 愛甲 政利	木材利用	(一社)京都府木材組合連合会副会長
くりやま こういち 栗山 浩一	学識経験者 (環境経済)	京都大学大学院農学研究科教授
しのべ ゆきお 篠部 幸雄	府民協働	京都森林インストラクター会 会長
ながしま けいこ 長島 啓子	学識経験者 (森林計画)	京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授
みよし いわお 三好 岩生	学識経験者 (防災関係)	京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授
もりい かずひこ 森井 一彦	森林組合	京都府森林組合連合会代表理事専務